

東日本大震災岩手県共同対策本部ニュース

事務局
いわて労連
No.3
2011.3.22

沿岸に救援物資搬送

被災地への道路が確保され、ガソリン不足が続く中でも各団体では被災地の沿岸に救援物資を搬送しています。

●いわて労連・医労連、釜石地区・陸前高田・大船渡地区へ救援物資搬送



陸前高田中心部はがれきの山

3月18日、道路の規制解除を受けいわて労連、医労連では燃料をかき集め、とりあえず集められた救援物資（カップめん1000個、米60キロ、ティッシュ、水、紙おむつ、トイレットペーパー、毛布、下着、軍手、医療品、手作りおにぎり等。+民商、川久保からの支援物資）を積み、全日本民医連の人たちも加えて釜石地区と陸前高田・大船渡地区へ2隊に分かれ走りました。



川久保病院で物資を詰め込む

いわて労連を出発し、盛岡民商や民医連に寄って援助物資を車に積み込みました。

途中、支援の拠点となっている中里元市長宅に立ち寄り状況を聞きました。陸前高田市街地に向



中里元市長宅で状況を聞く

かうと、市街地がすっかりがれきの山と化し、8キロ以上離れた住田町へも津波が川をさかのぼっていました。破壊された陸前高田病院の職員は住田町の地域医療センター内に居を移して、米崎町の自然環境活用センターに高田病院仮診療所を作り、医療に頑張っていました。



避難所だった体育館を津波がおそった

道路が回復したので現地には大型トラックで救援物資が届き始めていました。託された物資は高田一中の避難所などに届けましたが、ここでも被災した市役所の職員が我が身はさておいて頑張っていました。現地では次々訪れる支援者の対応で

現地が疲れてしまう状況もあるようです。

何もなくなってしまった陸前高田市の復興にはお金と長い時間がかかります。ぜひ長い期間のご支援をお願いします。



陸前高田第一中学校へ物資を届ける

拠点施設の確認、現地の実態把握等を行っています。大船渡民商の2階や、中里・前陸前高田市長の自宅などが候補にあがっています。



釜石市役所前

◎各団体の取り組み

●自治労連

いち早く自治労連青森支援本部から共同対策本部へカップ麺 1000 個が届きました。



青森自治労連より救援物資

岩手自治労連では沿岸地区の自治体援助に毎日走り回っています。

●岩商連

岩商連では3月17日に救援物資を積んだトラック2台の救援隊を大船渡に派遣。無事だった大船渡民商事務所を拠点に活動する予定です。

●民医連

川久保病院から小児科の小野寺医師など医師3人、看護師3人が1泊2日で大船渡市の現地に派遣され、長期的な対策として今後の



釜石



岩泉町小本

※災害ボランティアは受け入れが出来るようになったらお知らせします。

※共同対策本部では情報を集めています。メールかFAXで情報・写真等をお寄せ下さい。